

公益社団法人 日本オーケストラ連盟
2012年(平成24年)度 事業報告書

第1期 平成24年(2012年)8月1日から平成25年(2013年)3月31日まで

(1) 交響楽に関する調査研究及び資料、情報の収集

①「日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑 2012」を刊行した。

文化庁委託事業「平成24年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として3,000冊を刊行した。関係先に配布したほか、全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに無料で配布した。また、インターネットでも公開する。

② 各種レポートの発行

i. オーケストラ・サミット報告書

ii. 「オーケストラの日」アフターコンサートトーク報告書

発行物は一部をインターネットで公開するほか、「日本オーケストラ連盟ニュース」にも要旨を掲載し、全国の主たる図書館、大学、公立文化施設などに無料配布して広く公開する。

③ ライブラリアン会議、ステージマネジャー会議を開催した。

i. ステージマネジャー会議 8月13日(月)大阪 大阪フィルハーモニー会館

ii. ライブラリアン会議 12月 3日(月)広島 アステールプラザ

(2) 交響楽振興のための公演及び講習会等の開催

①「オーケストラの日 2013」の実施。

オーケストラを身近なものとしてアピールするため、3月31日を「オーケストラの日」として、様々な取組を行った。

○地方オーケストラ

17のオーケストラが3月31日とその前後に、アンサンブルの提供のほか、ジュニアオーケストラ、学生オーケストラと共演を行うなど多彩な内容で実施して、およそ1万人の入場者があった。また、京都駅ビル大階段の広場で開催したため(京都フィルハーモニー室内合奏団)聴衆数を把握できなかったとの報告もある。

○首都圏オーケストラ 3月31日(日)

首都圏オーケストラ12団体で「オーケストラの日祝祭管弦楽団」を編成しコンサートを実施した。また、午前中からロビーでは「オーケストラ広場」と銘打って各オーケストラがそれぞれブースを出展しPRとグッズの販売を行った。また、室内楽、会場練習の公開、楽器体験やステージ上では指揮者体験などを実施した。コンサート終了後には、「アフターコンサートトーク」を実施した。

会場 : ゆうぽうとホール(五反田)

- ・イベント 延べ来場者数 約2,300名
- ・コンサート 入場者数 1,692名 チケット販売数 1,752枚
- ・助成：朝日新聞文化財団、私的録音補償金管理協会（sarah）、
ロームミュージックファンデーション
- ・協力：ヤマハ、巴サービス社、五反田商店街振興組合、
映画「リトル・マエストロ」製作委員会、
混声合唱団コーロ・フォレスタ

○東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団は、合同のコンサートに参加した
以外にも独自に「オーケストラの日スペシャルコンサート」を実施した。

3月24日（日） 会場：ティアラこうとう ・入場者 910名

② 文化庁からの委託による「アジア オーケストラ ウィーク 2012」を
制作運営した。

- 10月2日（火） 木浦（モッポ）市立交響楽団／韓国
3日（水） ハノイ・フィルハーモニー管弦楽団／ベトナム
4日（木） 九州交響楽団
会場：東京オペラシティコンサートホール
5日（金） ハノイ・フィルハーモニー管弦楽団＋九州交響楽団
合同演奏会
会場：福島市音楽堂

・入場者数	東京公演	2日	923名	うち有料	343名
		3日	1,126名	うち有料	627名
		4日	1,265名	うち有料	711名
	福島公演	5日	659名	うち有料	466名
	総入場者		3,973名	うち有料	2,147名

③ 文化庁からの委託による「明日を担う音楽家たち 2013」を制作運営した。

2013年2月8日（金） 会場：東京オペラシティコンサートホール

演奏：東京フィルハーモニー交響楽団

- ・入場者数 1,258名 うち有料 604名。

④ 講習会、セミナー等の開催

i. 12月6日（木）シンポジウム「オーケストラに行こう！」

会場：東京芸術劇場 楽員控室、アーティスト・ラウンジ

- ・プレゼンティター 高松正典（東京ニューシティ管弦楽団）
法木宏和（読売日本交響楽団）
前田明子（東京都交響楽団）

益満行裕（日本フィルハーモニー交響楽団）

・司会 大野順二（東京交響楽団）

・参加者数 61名。

ii. 2013年3月31日（日）「オーケストラの日」アフターコンサートトーク
（公開座談会）“いまオーケストラにできること、そして未来へ”

会場： ゆうぼうとホール（五反田）

・登壇者 飯森範親（指揮者）

片山泰輔（静岡文化芸術大学 教授）

平尾信幸（神奈川フィルハーモニー管弦楽団）

山岸淳子（日本フィルハーモニー交響楽団）

・司会 梶川純子（東京交響楽団）

・参加者 約800名。

⑤ インターンシップの推進

連盟で募集受け付けをして、7名の学生をオーケストラとのマッチングを手配した。各オーケストラも独自に実施して、16楽団が83名の学生を受け入れ、人材育成に積極的に取り組んだ。

⑥ 文化庁新進芸術家海外研修制度への協力

文化庁からの依頼により、新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募のとりまとめを行った。

受付者数 5名 派遣内定者数 3名（オーケストラ楽員）

⑦ アフィニス文化財団が開催する「アフィニス夏の音楽祭」に協力

8月16日（木）～ 25日（日）山形

ホスト・オーケストラ： 山形交響楽団

⑧ 「日本音楽芸術マネジメント学会」への参加

音楽芸術の振興や保護に係わるマネジメントや教育、政策に関する研究会等々に参加した。

（3）青少年に対する交響楽の普及

①東日本大震災の被災地に加盟オーケストラの楽員によるアンサンブルを学校などに派遣してコンサートを提供し心の復興に継続して取り組んでいる。

・8月19日（日） 気仙沼 2回

東京都交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団の楽員による弦楽四重奏

とヴァイオリン独奏。

- ・ 9月15日（土） 気仙沼
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の楽員6名による木管・弦楽器とピアノのアンサンブル。
- ・ 9月21日（金） 仙台・八本松
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団の楽員による弦楽四重奏。
- ・ 10月27日（土） 仙台・高砂
山形交響楽団の楽員によるオーボエと弦楽器の四重奏。

②東日本大震災の被災地で統廃合により閉校となる小中学校の校歌を録音しCDに残す取組に協力している。

東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団により5校分の収録を終えた。

③ 東京都との共催による「子どもたちと芸術家の出あう街 2013」の制作に協力した。

2013年（平成25年）3月 2日（土） 会場：東京芸術劇場

企画・演奏：東京フィルハーモニー交響楽団

- ・ 事前ワークショップ 参加者 3,167名
- ・ 当日ワークショップ 参加者 377名
- ・ ロービーイベント 入場者 422名
- ・ 演奏会 入場者数 1,008名

（4）交響楽に関する国際交流

① 「アジア オーケストラ ウィーク」に招聘したハノイ・フィルハーモニー管弦楽団及びモッポ市立交響楽団と情報を交換した。

② 「アジア・太平洋地域オーケストラ連盟 第9回 オーケストラ・サミット」へ参加した。

11月3日（土）～ 6日（火）

会場：中国・マカオ（ウエスティン リゾート マカオ）

現在加盟している17の国と地域のうち、11の国と地域から64名が参加して開催された。

- ・ 出席者 国際部会 坂田誠一郎（読売日本交響楽団）
大野順二（東京交響楽団）

	赤穂正秀	(大阪交響楽団)
自主参加	出口修平	(NHK交響楽団)
	柿塚拓真	(日本センチュリー交響楽団)
事務局	吉井實行、名倉真紀	

③ブリティッシュ・カウンシルとBBC交響楽団の共催、アフィニス文化財団の助成による英国での教育プログラムの研修へ、オーケストラの事務局員を派遣することに協力した。

2013年1月25日(金)～2月4日(月) 英国・ロンドン

・オーケストラからの研修参加者

柿塚拓真(日本センチュリー交響楽団)

桐原美砂(新日本フィルハーモニー交響楽団)

小出 篤(名古屋フィルハーモニー交響楽団)

前田明子(東京都交響楽団)

益満行裕(日本フィルハーモニー交響楽団)

④海外との交流を一層深めるため、「国際部会」を設置した。

委員長 坂田誠一郎 (読売日本交響楽団)

委員 大野順二 (東京交響楽団)

敷島鐵雄 (大阪交響楽団)

(5) その他目的を達成するために必要な事業

①「日本オーケストラ連盟ニュース」を発行した。

年3回発行のうち、11月に第82号、3月に第83号を発行した。(7月に第81号を発行。)

会員オーケストラに限らず、全国の図書館や音楽大学、レコード店・楽器店などに広く無料配布した。

②文化庁支援のあり方や寄附文化の醸成について引き続き研究し、文化予算の拡大や民間からの資金調達が更に促進するよう様々な活動を行った。

③芸術家会議、日本芸能実演家団体協議会(芸団協)など他の芸術団体などと連携を図り、健全な文化活動、オーケストラ運営ができる環境整備と充実に努めた。

④著作権代行

一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との協定により、加盟オー

ケスラの使用する管理著作物の包括申請と使用料の一括徴収と支払を行った。

⑤ 共同広告

朝日新聞「音楽情報」欄への加盟オーケストラの広告出稿はなかった。

⑥ 「小澤征爾・ロストロポーヴィチ 互助基金」

貸付制度の利用者はなかった。

<会議の開催>

○理事会 計3回

- 第1回 8月27日(月) (決議の省略による)
- 第2回 9月18日(火) 東京 NHK青山荘
- 第3回 3月11日(月) 東京 NHK青山荘

○総会 計1回

臨時総会 10月22日(月) 東京 NHK青山荘

○地方オーケストラ連絡会／首都圏オーケストラ連絡会「合同会議」計2回・3日間

- 8月23日(木)、24日(金) 山形 緑町会館
- 3月11日(月) 東京 NHK青山荘

○運営委員会 第167回 ～ 第171回 計5回

10月10日(月)、11月15日(木)、12月18日(火)、1月23日(水)、
2月21日(木)

運営委員：宮澤敏夫・専務理事(札幌交響楽団)

石丸恭一・理事(東京フィルハーモニー交響楽団)

大石修治・理事(神奈川フィルハーモニー管弦楽団)

敷島鐵雄・理事(大阪交響楽団)

張田和宏・理事(京都市交響楽団)

山本雅士・理事(セントラル愛知交響楽団)

井形健児(広島交響楽団)

その他の出席者

理事長／児玉幸治、副理事長／金山茂人、田邊 稔、

常務理事／支倉二二男、理事・事務局長／吉井實行

○地方オーケストラ連絡会 計2回

8月24日(金) 山形 緑町会館

3月11日(月) 東京 NHK青山荘

○首都圏オーケストラ連絡会 第361回 ~ 第365回 計5回

9月25日(火)、10月9日(火)、12月10日(月)、1月23日(水)、
2月20日(水)、

○首都圏「オーケストラの日」実行委員会 計9回

8月31日(金)、9月25日(火)、10月25日(木)、11月19日(月)、
12月21日(金)、1月30日(水)、3月1日(金)、3月11日(月)、
3月25日(月)

<オーケストラの振興のため、外部の委員会・協議会等の活動に協力した。>

○公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(以下、「芸団協」)の監事として、
金山茂人・副理事長が就任している。

○芸術家会議の常任幹事として支倉二二男・常務理事が参加している。

○芸団協「実演振興委員会」政策部会・副部会長として支倉二二男・常務理事が参加している。

○「文化芸術推進フォーラム」委員として支倉二二男・常務理事が参加している。

○公益財団法人アフィニス文化財団の理事として、支倉二二男・常務理事が就任している。

○ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭の実行委員として、
支倉二二男・常務理事が参加している。

○「日本管打楽器コンクール」運営副委員長として支倉二二男・常務理事が参加している。

○演奏家権利処理合同機構(MPN)の「クラシック委員会」委員として、
工藤真実/東京フィルハーモニー交響楽団常務理事・事務局長、
吉井実行・事務局長が参加している。

○独立行政法人日本芸術文化振興会の「調査分析委員会」委員として、支倉二二男・
常務理事が参加している。

同委員会のワーキンググループに、

・赤穂正秀/大阪交響楽団 ・宇津志忠章/広島交響楽団、

・大野順二/東京交響楽団 ・栗田弘之/群馬交響楽団

・清水善一/名古屋フィルハーモニー交響楽団 ・利光敬司/NHK交響楽団
事務局として吉井実行・事務局長が参加している。

<関係団体との連携、協力>

- ・ 芸団協、・ 芸術家会議、・ 文化芸術推進フォーラム、・ 日本音楽芸術マネジメント学会、・ 公益財団法人公益法人協会の会員、構成団体として参加している。

<公益法人認定オーケストラ> (2013年4月1日現在) 順不同

- 公益財団法人 札幌交響楽団
- 公益財団法人 NHK交響楽団
- 公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- 公益財団法人 東京交響楽団
- 公益財団法人 東京都交響楽団
- 公益社団法人 広島交響楽協会 (広島交響楽団)
- 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
- 公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会 (大阪フィルハーモニー交響楽団)
- 公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団 (京都市交響楽団)
- 公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
- 公益社団法人 山形交響楽協会 (山形交響楽団)
- 公益財団法人 読売日本交響楽団
- 公益財団法人 兵庫県芸術文化協会 (兵庫芸術文化センター管弦楽団)
- 公益財団法人 九州交響楽団
- 公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団 (オーケストラ・アンサンブル金沢)
- 公益財団法人 群馬交響楽団
- 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団
- 公益財団法人 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

以上 20団体

＜ 公益社団法人 日本オーケストラ連盟 役員一覧 ＞

役 名	氏 名	現 職	常勤・非常勤
《名誉会長》	長岡 實	公益財団法人 資本市場研究会 顧問	非常勤 (元大蔵省事務次官、 S.55.6退官)
【理事長】	児玉 幸治	一般財団法人 機械システム振興協会 会長	非常勤 (元通産省事務次官、 H.3.6退官)
【副理事長】	金山 茂人	公益社団法人 日本演奏連盟 専務理事	非常勤
【副理事長】	田邊 稔	日本フィルハーモニー交響楽団 理事・相談役	非常勤
【専務理事】	宮澤 敏夫	札幌交響楽団 事務局長	非常勤
【常務理事】	支倉 二二男	兼 総務部長	常勤 (職員兼務役員)
【理事】	上島 重二	三井物産株式会社 元・会長	非常勤
	京 嘉昭	公益財団法人 アフィニス文化財団 専務理事兼事務局長	非常勤
	清水 義昭	トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部文化活動グループ長	非常勤
	曾野 綾子	作 家	非常勤
	西村 朗	作曲家	非常勤
	松尾 康二	カルビー株式会社 相談役	非常勤
	吉村 融	政策研究大学院大学 特別参与	非常勤
	石丸 恭一	東京フィルハーモニー交響楽団 専務理事	非常勤
	大石 修治	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事	非常勤
	敷島 鐵雄	大阪交響楽団 楽団長	非常勤
	田中 賢治	広島交響楽団 専務理事	非常勤
	張田 和宏	京都市交響楽団 シニアマネージャー	非常勤
	山巻 毅	東京都交響楽団 常務理事兼事務局長	非常勤
	山本 雅士	セントラル愛知交響楽団 事務局長	非常勤
【監事】	吉井 實行	事務局長兼業務部長	常勤 (職員兼務役員)
	酒井 規勝	公認会計士	非常勤
《顧問》	前 和男	札幌コンサートホール 元・館長	非常勤
	岡山 尚幹	前・常務理事	非常勤
《参与》	内田 剛弘	弁護士	非常勤
	加納 民夫	前・理事、事務局長	非常勤

2013年3月末現在

公益社団法人 日本オーケストラ連盟 会員名簿

正会員

- 1 NHK交響楽団
- 2 オーケストラ・アンサンブル金沢
- 3 大阪交響楽団
- 4 大阪フィルハーモニー交響楽団
- 5 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- 6 関西フィルハーモニー管弦楽団
- 7 九州交響楽団
- 8 京都市交響楽団
- 9 群馬交響楽団
- 10 札幌交響楽団
- 11 新日本フィルハーモニー交響楽団
- 12 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- 13 セントラル愛知交響楽団
- 14 東京交響楽団
- 15 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
- 16 東京都交響楽団
- 17 東京ニューシティ管弦楽団
- 18 東京フィルハーモニー交響楽団
- 19 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 20 日本センチュリー交響楽団
- 21 日本フィルハーモニー交響楽団
- 22 広島交響楽団
- 23 兵庫芸術文化センター管弦楽団
- 24 山形交響楽団
- 25 読売日本交響楽団

賛助会員

- 1 アサヒグループホールディングス株式会社
- 2 株式会社NTTデータ
- 3 オリックスグループ
- 4 カルビー株式会社
- 5 関西電力株式会社
- 6 キッコーマン株式会社
- 7 コクヨ株式会社
- 8 株式会社 資生堂
- 9 トヨタ自動車株式会社
- 10 株式会社日本旅行
- 11 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
- 12 ライオン株式会社
- 13 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

準会員

- 1 京都フィルハーモニー室内管弦楽団
- 2 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
- 3 静岡交響楽団
- 4 中部フィルハーモニー交響楽団
- 5 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
- 6 テレマン室内オーケストラ
- 7 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉

会員(社員)の異動状況書

会員種別	員 数		増減数	摘 要
	平成25年3月 31 日現在	平成24年7月 31 日現在		
正 会 員	25	25	0	
準 会 員	7	7	0	
賛助会員 (法人) (個人)	13 0	13 0	0	
名誉会員	0	0	0	
計	45	45	0	